

わいないなかごおりねんぶつおどり
和井内中郡念佛踊

- ◇ 指定日 平成8年4月15日
- ◇ 所在地 和井内
- ◇ 保持団体 和井内中郡念佛踊組合

この踊りの発祥は、^{むさしのくによしだしょうしょう}武蔵国吉田少将の御子息、^{うめわかまる}梅若丸の入滅を悲しんだ人々の念仏踊りに由来するといわれていますが、いつ頃から伝えられたのかは不明です。用具の一つに文化11年(1814年)の文字が見られます。

袖柄の^{じゅばん}襦袢に襷をかけ鎧をつけます。長刀・太刀・扇を演目によって持ちかえ、鉢巻か鳥兜をかぶります。太鼓と笛の両脇にろうそくを灯したキリコが立ちます。

毎年お盆には和井内のお寺（宝鏡院）の境内で踊り、^{あらぼとけ}新仏の墓で^{えこう}回向をあげて死者の霊をなくさめ供養しています。

演目…念仏踊り・城廻し・二十三・高館

